

# 熊野古道で“涼を得る”

～夏の楽しみ方を見つけにゆこう～

夏に熊野古道のような峠越えは暑くて大変そうだとつい思いがちではないでしょうか。ところが意外にも、熊野古道のなかには涼しさを感じる場所が隠れています。さあ、夏こそ熊野古道周辺の“納涼スポット”に出かけましょう!

(横垣峠は神山側から登ると、水壺地蔵の先にて崩落により通行止めとなっているため、現在通り抜けできません。神山と阪本の両方から途中までは登ることができます。)

水の納涼スポットといえば、マイナスイオンたっぷりの滝が欠かせません。馬越峠の尾鷲市側、馬越公園近くにある不動滝は、まさに古道沿いにある滝です。雨が一度にたくさん降るこの地域では、雨が上がった後、普段は何もない所に小さな無名の滝がたくさん現れます。時間限定の滝を見つけるのも、今の雨が多い季節の楽しみです。ただし、石畳が濡れていると滑りやすくて危険ですから、十分に気をつけてくださいね。

熊野古道には四季折々の楽しみ方があります。もちろん夏は一年のなかで一番暑い季節ですが、それだけに他の時期には気付かない、自然や道のすばらしさを発見することができるはず。水分をこまめに摂ることをお忘れなく、夏の熊野古道に出かけてみましょう。

梅雨が終われば、やって来るのは日差しの照りつける夏。しかし、熊野古道を歩き始めると、高く伸びたヒノキやスギの林が日差しをさえぎって、たくさんの木陰を作ってくれています。ですから、照り返しも厳しいアスファルトの車道から熊野古道に入ると、「あれ?意外と涼しいぞ」と感じる人も多いようです。木々の間から入ってくる木漏れ日も、なんだかさわやかに感じられます。

馬越峠(紀北町～尾鷲市)や松本峠(熊野市)などでは、登り始めてからしばらく行くと、熊野古道を横切るように流れる小川に出会います。歩いてやや暑くなってきたなあ、と感じてきた時に聞く小川のせせらぎは、心地よく響く音楽のようです。山から湧き出たばかりの水はひんやり冷たく、手や足を入れてみれば心も体も癒されます。自然から力をもらって、もうひとがんばり、峠越えを目指しましょう。

また、横垣峠の頂上近くにある水壺地蔵の横からは、弘法大師が杖をついて湧き出した、とも言われる水がとうとう流れています。麓の農業用水としても使われてきたありがたい水で、涼しさと古道沿いの歴史が伝わってくるスポットです



熊野古道からのてがみ

19 通目



今から約2年前に初めて熊野古道を歩いたときの感覚は、今でも鮮明に覚えています。当時大学生だった私は、学校の授業の関係で4ヶ月ほど紀北町古里地区の民宿に住み込みながら研修を受けていました。それまで紀伊半島とは縁もゆかりもない人生を送ってきたので、熊野古道のことについて人並みに知ってはいるけれど...といった程度でした。しかし、せつかく熊野古道の町に住んでいるのだからと思ひ、研修中に知り合った方にガイドをお願いして馬越峠を歩いたのです。

生まれて初めて歩いた熊野古道は驚きと感動で溢れていました。何百年も前に組まれたのにも関わらず今でも美しい姿を保つ石畳。熊野詣に向かう人々の休憩場所となつた腰掛岩。時には旅の安全を願ひ、時には道半ばにして倒れた旅人を叩くお地蔵様。まさに一歩一歩に発見と驚きのストーリーがありました。私はガイドさんのお話に感銘を受けると共に、熊野古道が人々の願いと想いをつなぐ道なのだということを実感しました。

その日以来、私の中でちょっとした変化が起きました。身の回りの

たくさんの物事の中に、「見えないストーリー」を探さようになったのです。道端の花や雑草にも誰かが思いを込めてつけた名前があり、ふと目に入る家々のひとつひとつに誰かのかけがえのない生活がある。そんなことを想像するだけで、とても幸せな気持ちになつてしまいます。人々の願いや想いをつなぐ熊野古道は、私の心もがっちり繋いでしまいました。



立花 圭さん  
(紀北町)  
紀北町観光協会

次は紀北町の  
大西 宣子さん

## 花尻 薫からの季節のたより No.19 「私は薬草です。毒だと言わないでください。～ドクダミ～」

私は、日蔭のじめじめとした場所が好きです。そんな場所を選んで生えます。

江戸時代の宝永6年(1709)の書物『大和本草』という本には「十葉(じゅうやく)」という名が出ていますが、実は馬に十葉を飲ますと十種類の薬の効能があり、大変元気になるのでそう呼んでいるのです。

どのような効能があるのか詳しく書きますと、花が咲いている時期(6月から7月)に根も含めて全草を採取して日陰で干します。

乾燥した十葉を煎じて飲みますと、小便や大便の出がよくなるようです。血圧の高い方は乾燥した全草をハサミで小さく切り、約20gから30g

煎じてお茶代わりに飲むと効き目があると云われます。

生のドクダミを触りますと手が臭くなりますから、何か毒でもはいつているのかと、ドクダミ(毒溜め)と言われました。この毒溜(ドクダミ)がドクダミと変化したので、毒のように言われているのです。嫌な臭いのもとで、風変わりな方言が多いのです。

「イヌノシリ」「イヌノヘ」=青森県・秋田県。「カッパノヘ」「ヘヒリグサ」=大分県。ユニークな「カミナリノヘソ」=静岡県など興味深い方言があります。紀州では何と呼びますか。教えてください。



ドクダミ

### センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

**お母ちゃんのランチバイキング**  
尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間: 11:00～14:00  
料 金: 中学生以上 .....1,200円  
子供 .....700円  
乳幼児 .....無料  
60歳以上 .....1,000円

### みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」

深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。

開館時間: 10:00～21:00  
入浴料: 一般 .....600円  
65歳以上 .....500円  
4歳～小学生 .....300円  
4歳未満 .....無料

お風呂がかりは、カフェでまったり!  
営業時間: 9:00～21:00  
(ラストオーダー20:30)



●お車で越しの方は...  
国道42号線で尾鷲市内→矢の浜南交差点を海側へ曲がる→突き当たりを右折→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。(国道から約10分)

●電車で越しの方は...  
■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター」下車  
■松阪駅  
→南紀特急バス「熊野古道センター」行 終点下車(約2時間)

### ★熊野古道センターニュースレター★ “熊野古道センターからのてがみ 2011年夏号”

- 発行日:2011年6月20日(季刊)
  - 編集・発行:三重県立熊野古道センター(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
  - 編集担当:堀内
  - 連絡先:  
〒519-3625 三重県尾鷲市向井字村島12-4  
TEL 0597-25-2666  
FAX 0597-25-2667  
Mail info@kumano-kodocenter.com  
HP http://www.kumano-kodocenter.com/
  - 開館時間:午前9時～午後5時
  - 入場料:無料
  - 休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)
- 60000110620SH



～ 語り部さんと歩く熊野古道 ～



「語り部さん」ガイドの様子

皆さんは「語り部さん」を知っていますか？「語り部さん」とは、単なる道案内人ではなく熊野古道伊勢路と一緒に歩きながら、熊野古道に関する歴史や文化、自然について説明してくれるガイドさんのことをいいます。

この「語り部さん」は、地元のいろいろな人達が「住民参加の地域づくり」の一環として活動しており、その人達から聞くことができる地域情報は、熊野古道を訪れる皆様への「おもてなし」の一つでもあります。

初めて歩かれる方や、仲良しグループで歩こうと計画を立てられている方。熊野古道の旅を、「語り部さん」と一緒に歩いてみてはどうですか？

また、土曜・日曜・祝日(午前10時～午後4時)は当センターのサポートスタッフとして、語り部さんに展示棟で案内をしていただいています。御来館いただきましたら熊野古道伊勢路に関するミニ情報などゲットできるかも？



「直撃! 語り部さんにインタビュー」(垣内昭子さん)

語り部さんとして活動するなかで思うことは？

▶ 各地から熊野古道を訪れるお客様と話をするなかで、知らない知識もあり、たくさん教えてもらうことができ、自分にとっても勉強になる場が語り部の活動です。

▶ お客様に楽しんでいただくために、これからも頑張っていきます。

「お客様の笑顔が一番うれしいです」

【語り部のご依頼・お問い合わせ先】

\*詳細は下記までお問い合わせください。

**紀北事務所**  
TEL:0597-23-3784  
FAX:0597-23-3785

**東紀州観光まちづくり公社**

**紀南事務所**  
TEL:0597-89-6172  
FAX:0597-89-6184

\*熊野古道語り部友の会によるガイドは有償です。(必要経費として語り部1名・1時間につき5千円、八鬼山越えのみ1万円)

～和歌山県世界遺産センター事業の紹介～

和歌山県世界遺産センターの代表的な事業を5項目ご紹介します。

和歌山県世界遺産センターは、国道168号線を挟んで熊野本宮大社の真正面にある「熊野本宮館」内にあります。「熊野本宮館」は海外からの注目度も高く、「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン(日本旅行ガイドブック)」で、一つ星(☆)評価を受けています。【熊野古道・熊野三山は最高評価の三つ星(☆☆☆)です】

雄大な自然と豊かな文化が良質に保たれてきた世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」(文化遺産)に対し、未来ある若い世代が誇りを持ち、訪れる方々に心から満足していただくために、職員一同毎日奮闘しています。

では、和歌山県世界遺産センターの代表的な事業を5項目ご紹介します。

- 1 常設展示・交流空間「Kii Spirit」です。**  
「紀伊山地の霊場と参詣道」の解説、衛星地図、画像パネル等があります。その他、熊野那智参詣曼荼羅図・両界曼荼羅図の展示、「紀伊山地の霊場と参詣道」紹介映像の常時放映、インターネット検索用パソコン、学術図書・観光ガイドもあります。
- 2 世界遺産入門です。(各種団体対象)**  
「紀伊山地の霊場と参詣道」について、企業、団体、各種学校を対象に、映像・曼荼羅絵解きを含め、幅広くお話しするものです。
- 3 道普請ウォークです。(各種団体対象)**  
紀伊山地は年間降水量が大変多く、古道も傷みます。道の修復には、多くの人員と継続性が求められます。そのため、企業・団体・各種学校を対象に、ボランティアとして古道の維持・修復活動にご協力いただいています。
- 4 世界遺産ゼミです。(個人、小人数対象)**  
「紀伊山地の霊場と参詣道」を学術的に研究している大学生・大学院生を対象に、登録資産の保全、観光資源としての登録資産等、幅広くお話ししています。また長期休業中の小・中・高校生を対象に、「世界遺産ゼミ・初級編」も行っていきます。
- 5 講師派遣です。**  
世界遺産に関連して、全国で開催されるセミナー・シンポジウム・研修会等、講演活動を行っています。



作業前

作業中

作業後

和歌山へお越しの際は、ぜひ和歌山県世界遺産センターへお立ち寄りください。

和歌山県世界遺産センター

和歌山県田辺市本宮町本宮100番地の1 世界遺産熊野本宮館内  
TEL:0735-42-1044 FAX:0735-42-1560

詳しくは、<http://www.sekaisan-wakayama.jp/> をご覧ください。



イベント情報 Event Info.

夏休み企画展

「川のおそびと生きもの ～熊野って川イイ!～」

東紀州地域には、現在も多くの清流がとうとうと流れ、豊かな生態系が残っています。本展では、工夫して作られた遊びの道具や方法、さらに地域の川にまつわる民話などを通じて、川の魅力やその環境を守ってゆくことの大切さを感じていただきたいと思います。

展示予定資料 尾鷲ヒノキ製のカナディアンカヌー、ウナギとりの道具、民話のデジタル紙芝居ほか

日時:平成23年7月9日(土)～9月4日(日) 入場料:無料  
午前9時～午後5時 会期中無休 場所:企画展示室

企画展 「シリーズ熊野のお祭り 紀宝町の祭り」と船(仮)

昨年より5ヵ年をかけて三重県東紀州地域の市町に伝わる“お祭り”“伝統行事”を紹介する企画展「シリーズ熊野のお祭り」を展開しております。昨年の「紀北町の関船祭り」に続く第2弾は、紀宝町のお祭りに注目いたします。

交流イベント

7/7(木)「新宿トラッドジャズフェスティバル in 熊野古道センター～熊野古道世界遺産登録記念日 チャリティーコンサート～」

2004年7月7日、熊野古道が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録された記念日に、チャリティージャズコンサートを開催します。このコンサートは、東日本大震災復興支援の為にチャリティーとし、会場に募金箱を設置します。 ※集まったお金は日本赤十字社に寄付させていただきます。

◇時間:開場 午後6時、開演 午後6時30分 ◇参加料:無料  
◇定員:170名(整理券あり・6月15日(水)午前9時～配布開始)  
◇場所:交流棟大ホール  
◇出演:古川奈都子氏、永谷正嗣氏 他  
◇主催:三重県立熊野古道センター、NPO法人 悠遊くうかん木海香の里

体験学習

7/24(日) 東紀州の四季を味わう料理教室 ～熊野地鶏を味わう～

東紀州の旬の食材や特産品を使った大人気の料理教室です。熊野地鶏のコクと深い味わいをご賞味ください。  
◇時間:午前10時～午後1時  
◇参加料:2,000円  
◇定員:24名(要申込) ※応募者多数の場合は抽選  
◇場所:体験学習室  
◇講師:村林新吾氏(相可高校食物調理科教諭)  
◇受付:6月24日(金)午前9時～7月12日(火)午後5時まで



料理教室の様子

8/7(日) 自然学校「あなたも化石発掘隊!!」

熊野古道センター周辺で化石の発掘体験を行います。1700万年前の太古の生き物に出会えるかも?  
◇時間:午前9時～午前11時30分 ◇場所:尾鷲市内(大曾根湯ツバキ公園集合)  
◇参加料:300円(保険料等含む) ◇講師:二村直司氏(元尾鷲小学校校長)  
◇定員:小学生とその保護者 30名(要申込) ◇備考:雨天等のため延期の場合は8月20日(土)に開催

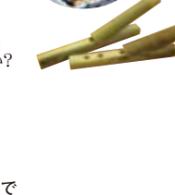
8/12(金)～14(日) お盆の体験教室(竹笛・線香・木工)

8月12日～14日の3日間、ご家族で楽しめるものづくり教室を日替わりで開催します。すべて地域の自然素材を利用していますので、東紀州に訪れた記念にもピッタリです。すべて事前の申し込みは不要で、午後1時～3時受付です。  
◇日程:8月12日(金) 竹笛づくり(参加料:100円)  
8月13日(土) 杉の葉線香づくり(参加料:100円)  
8月14日(日) あなたも木工家(参加料:200円)  
◇場所:交流棟ロビー  
◇講師:熊野古道センター職員、川端一氏



8/21(日) 東紀州の四季を味わう料理教室

東紀州の旬の食材や特産品を使った大人気の料理教室です。あなたも東紀州の味を味わってみませんか?  
◇時間:午前10時～午後1時  
◇参加料:2,000円程度(食材により変更する場合があります)  
◇定員:24名(要申込) ※応募者多数の場合は抽選  
◇場所:体験学習室  
◇講師:村林新吾氏(相可高校食物調理科教諭)  
◇受付:7月15日(金)午前9時～8月2日(火)午後5時まで



付属企画 熊野自然学校 「川ガキ大将復活大作戦!」

熊野市が誇る清流・大又川では、アブラハヤ、カワムツ、ウグイ、オイカワなどの魚がたくさん生息しています。川の生きものの捕まえ方を学んだり、岩の天然滑り台で遊ぶなど、子どもから大人まで夏休みの1日をおもいきり楽しみ、川のガキ大将に変身しましょう。

日時:7月30日(土)午前9時～12時30分  
参加料:500円(保険料等を含む)  
定員:小中学生とその保護者 20名  
場所:大又川流域(熊野市飛鳥町)  
備考:雨天等のため延期の場合は7月31日(日)に開催



川は絶好の遊び場 どうやって使うのかな? ハヤドリピン

講座・講演

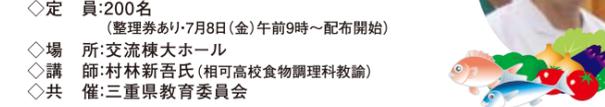
7/29(金) 講演会「生徒と共に歩む料理道」

ドラマ「高校生レストラン」でも大脚光を浴びている、相可高校教諭の村林新吾氏をお迎えし、料理を通して生徒への指導や日々の様子などユーモアを交えながら語っていただきます。

◇時間:開場 午後6時30分、開演 午後7時  
◇参加料:無料  
◇定員:200名  
(整理券あり・7月8日(金)午前9時～配布開始)



◇場所:交流棟大ホール  
◇講師:村林新吾氏(相可高校食物調理科教諭)  
◇共催:三重県教育委員会



月別ひのきアート教室

地元の特産品である尾鷲ヒノキからできる魔法の素材・ひのきシートを使ってのものづくり教室です。  
◇日時:6月26日(日) ヒノキのうたち  
7月24日(日) ヒノキモバイル  
9月25日(日) タバストリー  
◇参加料:各1,000円 \*連続講座ではありません  
◇定員:各10名(要申込)  
◇場所:体験学習室  
◇講師:NPO法人海虹路会員



毎週日曜日 あなたも木工作家! その場でできる木工教室

事前申込不要!!来館してその場で気軽に体験することのできる木工教室です。メニューは、お箸・しおりなどのひのきアート、木の動物・木のおもちゃづくりなど週替わりで開催します。  
◇時間:午後1時～3時受付  
◇参加料:200円～1,500円(申込不要)  
◇場所:交流棟ロビー  
◇講師:NPO法人海虹路会員、川端一氏、大形弥生氏、畑中昇氏



新しい古道の歩き方

9/10(土) 紀和町の史跡めぐり～水車谷銅鉱山遺跡の散策～

はるか昔から鉱山の町として栄えた歴史があり、現在も紀和町楊枝川地区に文化財として残されている『水車谷銅鉱山遺跡』をガイドとともに散策します。  
◇時間:午前9時～午後2時  
◇参加料:詳細は決定次第お知らせします。  
◇定員:20名  
◇場所:熊野市紀和町  
◇講師:福角晏次氏(熊野市文化財専門委員)  
◇備考:雨天等のため延期の場合は9月17日(土)に開催



\*写真・イラストはイメージです。